



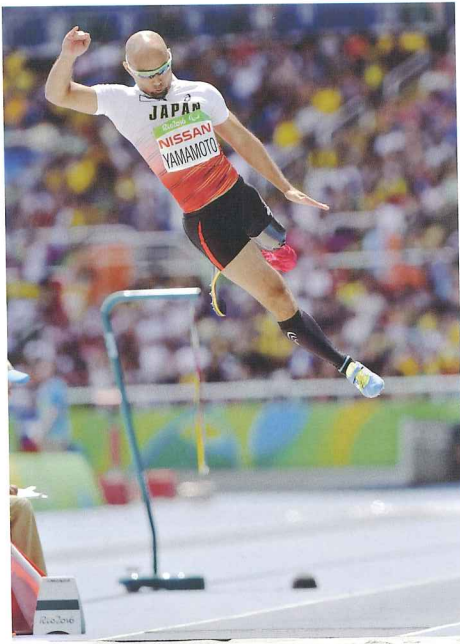
公益財団法人

日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会

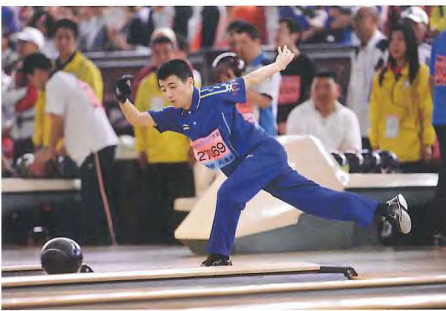
Japanese Para-Sports Association Japanese Paralympic Committee



公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会



1964年パラリンピック東京大会 (国際身体障害者スポーツ大会)



<協会の概要>

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会は、昭和39年に開催されたパラリンピック東京大会を契機に、わが国の身体障がい者スポーツの普及・振興を図る統括組織として、「財団法人日本身体障害者スポーツ協会」の名称で昭和40年に厚生省（現 厚生労働省）の認可を受けて設立されました。

平成10年に長野県で開催された冬季パラリンピックを契機に、三障がい全てのスポーツ振興を統括する組織として、また国際舞台で活躍できる選手の育成・強化を担う統括組織としての位置づけが有識者会議で提言されました。

そこで平成11年、当協会の寄附行為を改正し、「財団法人日本障害者スポーツ協会」に組織名を改称するとともに、協会内部に日本パラリンピック委員会を設置しました。

その後、平成14年に閣議決定された新たな「障害者基本計画」において、障がい者スポーツの振興については当協会を中心に進める旨が記されました。

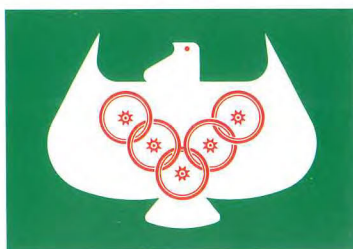
さらに平成23年8月、スポーツ振興法が50年ぶりに全面改正され新たにスポーツ基本法が公布されました。新法では、障がい者のスポーツ振興についてはじめて言及され、国の責務とともに当協会の立場が明確になりました。

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 コミュニケーションマーク



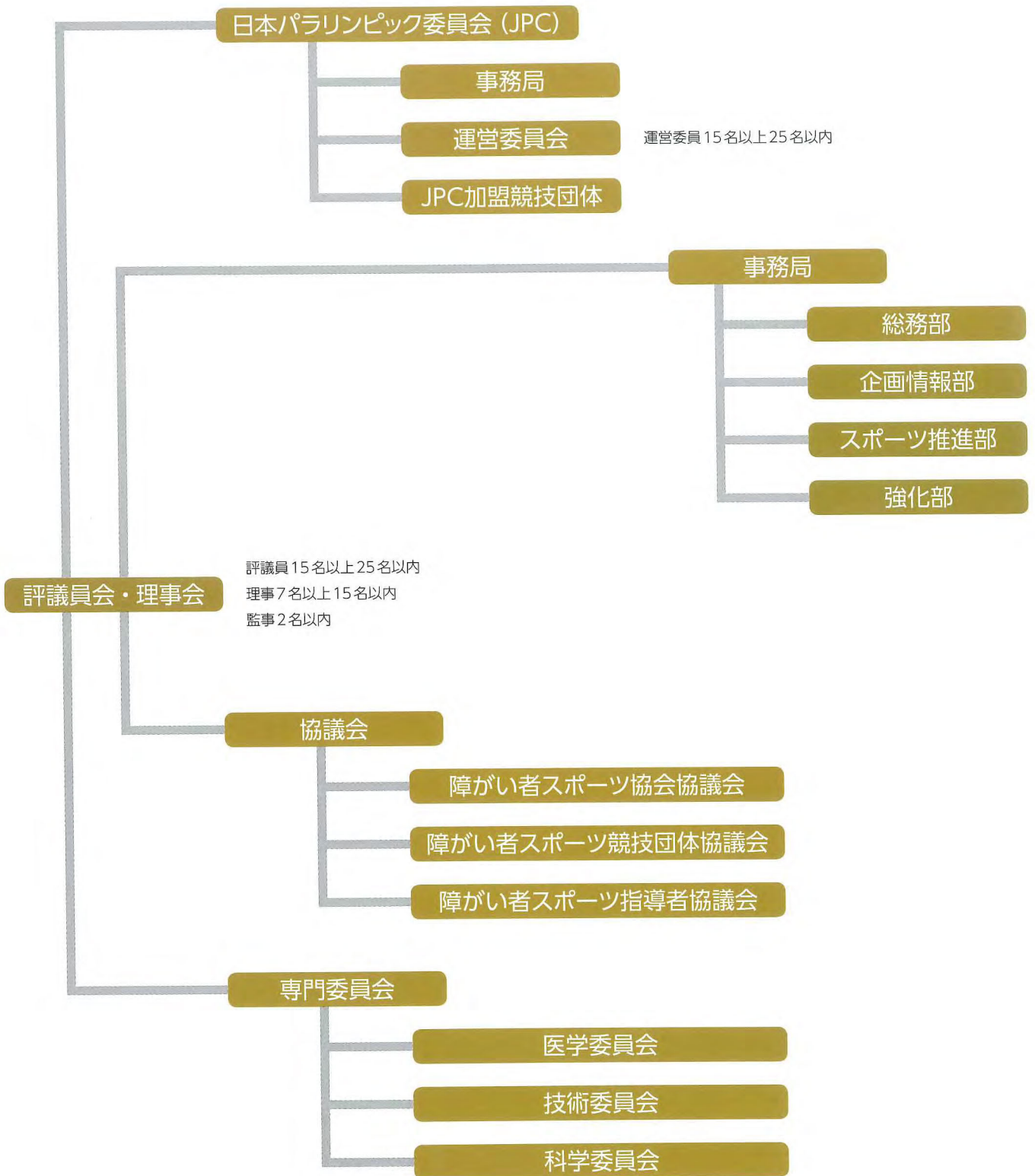
火の鳥の羽をモチーフにしており、マークの赤は未来へ飛翔するアスリートたちの心の中に燃える炎を表す。

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 シンボルマーク



パラリンピック東京大会の時に制定されたもので、五つの輪は、車いすと世界の人々をつなぐ輪（和）、中心の星は希望、その配列はV字（ビクトリー）で人生を克服する勝利、白鳩は愛を表す。

公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会組織図



評議員 …………… 評議員の選任は、評議員会において行う。
 理事・監事 …………… 理事、または監事は、評議員会の決議によって選任する。
 会長・副会長・常務理事 …… 代表理事である会長、副会長、業務執行理事である常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
 名誉会長 …………… 名誉会長は、理事会の決議を経て、会長が委嘱する。
 顧問・参与 …………… 顧問及び参与は、理事会の推薦により会長が委嘱する。

大会開催事業

全国規模の障がい者スポーツ大会を開催しています。

主な主催事業

- 全国障害者スポーツ大会
- ジャパンパラ陸上競技大会
- ジャパンパラ水泳競技大会
- ジャパンパラゴールボール競技大会
- ジャパンパラウィルチェアーラグビー競技大会
- ジャパンパラアルペンスキー競技大会
- 内閣総理大臣杯争奪 日本車椅子バスケットボール選手権大会
- 文部科学大臣杯争奪 日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会
- 大分国際車いすマラソン大会
- 全国車いす駅伝競走大会
- 国際盲人マラソンかすみがうら大会
- 厚生労働大臣杯争奪全国身体障害者スキー大会
- 全日本女子車椅子バスケットボール選手権大会



全国障害者スポーツ大会 シンボルマーク



21世紀の「21」をモチーフに、障がい者の「走る」「跳ぶ」「泳ぐ」姿をデザイン。4つのカラーは「北海道（青＝海）」「本州（緑＝大地）」「四国（黄＝光）」「九州（赤＝太陽）」を表し、全国の障がい者スポーツの交流の場として、人と人との交流、地域との連帯を深める全国障害者スポーツ大会の未来への飛躍をシンボライズした。

ジャパンパラ競技大会 シンボルマーク



**Japan Para
Championships**

力強いSpiritと生命力を燃える炎（聖火のイメージ）で表現した。

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会は、わが国における障がい者のスポーツの普及・振興を図るため

障がい者のスポーツ大会の開催及び奨励

全国障害者スポーツ大会やジャパンパラ競技大会をはじめとする、全国規模の障がい者のスポーツ大会を開催奨励しています。



障がい者スポーツ指導者の育成

障がい者のスポーツの普及、振興を図るため、障がい者スポーツ指導者養成講習会を実施し、指導者の育成を推進しています。



障がい者スポーツ団体及び関連団体との連絡調整

国内の障がい者スポーツ及び関連団体との連絡・調整を図り、障がい者のスポーツの普及・振興を推進しています。



障がい者のスポーツに関する相談、指導及び普及啓発

障がい者のスポーツに関するあらゆる相談に対応しています。



国際パラリンピック委員会及び国際的な障がい別競技団体の事業への参画

国際パラリンピック委員会 (IPC) をはじめとする国際組織に加盟し、連絡・調整を図っています。また、アジアパラリンピック委員会 (APC) をはじめとする国際組織に委員・役員を派遣し、これらの組織の運営に積極的に関わっています。

りに紹介する事業を行っています。

国際大会への選手、役員の派遣 及び成績優秀者の表彰

パラリンピックをはじめとする各種競技の国際大会に選手、役員を派遣しています。またパラリンピック等の成績優秀者に対し特別賞を授与しています。

6



障がい者スポーツ選手の 競技力の強化

障がい者スポーツ選手の競技力向上のために、競技団体への支援をしています。

7

障がい者スポーツに関する 調査研究

広く障がい者スポーツの振興に関する調査研究を行っています。

8



障がい者の スポーツの広報

インターネットや、各種報告書を通じて、国内外の障がい者のスポーツに関する情報提供を行っています。

9



事業に必要な財源調達のための 知的財産権の管理及び商標提供

スポンサーシップ制度を通じて自主財源の確保に努めています。

10

その他、この法人の目的達成に 必要な事業

その他、本協会の目的達成に必要な事業を行っています。

11



育成事業

障がい者スポーツの振興と競技力の向上を図るため、公認障がい者スポーツ指導者制度に基づき障がい者スポーツ指導者（障がい者スポーツ指導員、障がい者スポーツコーチ、障がい者スポーツ医、障がい者スポーツトレーナーの総称）の育成事業を実施しています。

障がい者スポーツ指導員

障がいのある人々が安全に楽しくスポーツを行うために不可欠な指導・助言、安全管理、指導体制の確立等が行える「障がい者スポーツ指導員」の育成を行っています。

公認障がい者スポーツ指導員（平成28年12月31日現在）

初級障がい者スポーツ指導員	19,278名
中級障がい者スポーツ指導員	3,117名
上級障がい者スポーツ指導員	758名
合計	23,153名



障がい者スポーツコーチ

協会、その他関係団体と連携し、各種競技別の障がいのあるアスリートの強化・育成などを行う「障がい者スポーツコーチ」の育成を行っています。

公認障がい者スポーツコーチ
（平成28年12月31日現在） 152名



障がい者スポーツ医

スポーツ・レクリエーション活動に必要な医学的管理及び指導などの医学的支援をするとともに、協会、その他の関係団体と連携し、医学的見地から障がいのある人々の健康の維持、増進及び競技力の向上などに寄与する「障がい者スポーツ医」の育成を行っています。

公認障がい者スポーツ医
（平成28年12月31日現在） 395名



障がい者スポーツトレーナー

障がいのある人々のスポーツ活動に必要な安全管理及び競技力の維持・向上の支援をするとともに、協会、その他関係団体と連携し、障がいのある人々の健康の維持、増進及び競技力の向上に寄与する「障がい者スポーツトレーナー」の育成を行っています。

公認障がい者スポーツトレーナー
(平成28年12月31日現在)

132名



資質向上のための研修会の実施

指導者資格を取得している方を対象に、資質向上のための研修会を開催しています。

1. ステップアップ研修会
2. 障がい者スポーツ指導者全国研修会
3. 全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会



地域活動促進のための助成

全国8ブロックに分けたブロック単位や都道府県・指定都市単位で組織化された障がい者スポーツ指導者協議会が行う障がい者スポーツの普及・振興事業に対して助成(研修・活動費等)事業を行っています。



資格取得認定校の認定

学校教育法に基づく大学、短期大学及び専門課程をおく専修学校において、障がい者スポーツ指導員の資格が取得できるようにするため、一定の条件を満たす学校を資格取得認定校として認定しています。

公認障がい者スポーツ資格取得認定校(平成28年度認定校) 179校

初級資格取得認定校	大学	64校
	短期大学	17校
	専門学校	71校
中級資格取得認定校	大学	27校



情報提供・相談事業

障がい者のスポーツに関する様々な相談や問い合わせ等に対して、情報提供や助言等を行っています。また、ウェブサイトやフェイスブックでは、障がい者スポーツに関する最新情報をはじめ、大会や指導者養成に関する情報、動画や写真を用いた障がい者スポーツの紹介情報など、多様な情報提供を行っています。

ウェブサイトやフェイスブックによる情報提供

協会ウェブサイト

当協会の事業概要、障がい者スポーツの紹介映像、ジャパンパラ競技大会情報、指導者養成研修事業等、障がい者スポーツの普及・振興に関する情報を提供しています。



JPCウェブサイト

日本パラリンピック委員会 (JPC) の事業概要、パラリンピック実施競技の紹介、パラリンピック日本代表選手団の派遣概要等、パラリンピック・ムーブメントの推進に役立つ情報を提供しています。

フェイスブック

国内外で開催される障がい者スポーツ大会や障がい者スポーツの普及・啓発イベントの状況を随時発信しています。



パンフレット、冊子による情報提供



季刊誌「NO Limit」

国内外で開催される障がい者スポーツ大会やイベント、障がい者スポーツ指導者の地域活動状況や資質向上のための情報提供をしています。

冊子

障がい者スポーツの歴史や現状をまとめた冊子、パラリンピックや全国障害者スポーツ大会の実施競技の解説冊子などを作成し情報提供をしています。



パネルやDVD等、広報物の貸与

パネル・DVD

障がい者スポーツを紹介する各種DVD映像や、パラリンピック等で活躍する障がい者アスリートの写真パネルを作成し、障がい者スポーツの普及・啓発活動を行う学校や団体に貸与しています。



調査・研究事業



調査・研究報告書

障がい者スポーツの普及・振興を図るため、毎年、調査・研究事業を行っています。

収益事業

自己財源の確保のため、当協会が保有する知的財産を使用し、企業・団体からの協賛金を募集しています。

JPSAオフィシャルスポンサーシッププログラム

2015年1月1日より実施している日本障がい者スポーツ協会（JPSA）オフィシャルスポンサーシッププログラムは、当協会が掲げるビジョンの実現に賛同する企業・団体を対象に募集している協賛プログラムです。参加していただいている協賛企業・団体は、協賛金の

提供をはじめ、障がい者スポーツの普及・振興のための広報活動やボランティア活動を行っています。協賛企業・団体は、協賛カテゴリーにより下記の権利が発生し、企業・団体の広報活動や商用活動などに使用することができます。

JPSAオフィシャルパートナー

- 日本障がい者スポーツ協会コミュニケーションマークの使用権
- 企業・団体ロゴと日本障がい者スポーツ協会コミュニケーションマークとを組み合わせたコンポジットロゴの使用権
- 公式呼称の使用権
「日本障がい者スポーツ協会オフィシャルパートナー」、「JPSAオフィシャルパートナー」
- 応援文言
「〇〇〇は、JPSAのオフィシャルパートナーです」、「〇〇〇は、日本障がい者スポーツ協会を応援しています」
- ジャパンパラ競技大会に関する各種権利
大会会場において企業・団体ロゴ入りの横断幕等を掲出できる権利
公式プログラムに企業・団体の広告（A4縦カラー1ページ）を掲載できる権利
周知用公式ポスターに、企業・団体のロゴを掲載できる権利
協会ウェブサイト及びスポンサーバックドロップに企業・団体ロゴを表示することができる権利
- 協会が発行する季刊誌「NO Limit」に広告（A4縦カラー1ページ）を掲載できる権利

JPSAオフィシャルサポーター

- 日本障がい者スポーツ協会コミュニケーションマークの使用権
- 企業・団体ロゴと日本障がい者スポーツ協会コミュニケーションマークとを組み合わせたコンポジットロゴの使用権
- 公式呼称の使用権
「日本障がい者スポーツ協会オフィシャルサポーター」、「JPSAオフィシャルサポーター」
- 応援文言
「〇〇〇は、JPSAのオフィシャルサポーターです」、「〇〇〇は、日本障がい者スポーツ協会を応援しています」
- ジャパンパラ競技大会に関する各種権利
公式プログラムに企業・団体の広告（A4・1/2ページ）を掲載できる権利
周知用公式ポスターに、企業・団体名を掲載できる権利
協会ウェブサイトにて企業・団体名を表示することができる権利

日本パラリンピック委員会の組織・事業



平成10年に開催された長野パラリンピック冬季競技大会を契機に、平成11年、日本障がい者スポーツ協会の内部組織として当時厚生省の認可を受け「日本パラリンピック委員会」が発足しました。

日本パラリンピック委員会は、日本を代表する組織として、国際組織・競技団体に加盟し、国際競技大会への選手派遣や、国内の選手強化を実施しています。

組織

- 会長 鳥原 光憲 (日本障がい者スポーツ協会会長)
- 委員長 山脇 康 (日本障がい者スポーツ協会理事)
- 副委員長 高橋 秀文 (日本障がい者スポーツ協会常務理事)
水野 正幸 (日本障がい者スポーツ協会理事)
櫻井 誠一
- 運営委員会 運営委員 23名 (会長1名、委員長1名、副委員長3名)
- 加盟競技団体 63団体 (平成29年1月現在)
- 事務局 日本障がい者スポーツ協会



リオ2016パラリンピック競技大会の日本代表選手団

主な強化事業

1 国際大会派遣

パラリンピックをはじめとする国際総合大会に選手を派遣し、また強化費を加盟競技団体に配分し、競技別の国際大会へ選手・役員の派遣を行っています。

4 ジャパンパラ競技大会の開催

各競技の強化を目的に、競技団体と共催し国内最高峰の競技大会として毎年開催しています。

2 強化合宿

競技団体へ助成金を配分し、加盟競技団体による強化活動を支援しています。

5 選手発掘事業

競技団体並びに地域の関係団体と連携を図り、障がい者スポーツを体験する機会を提供することにより、将来、パラリンピックで活躍できる選手を発掘する事業を行っています。

3 人材育成

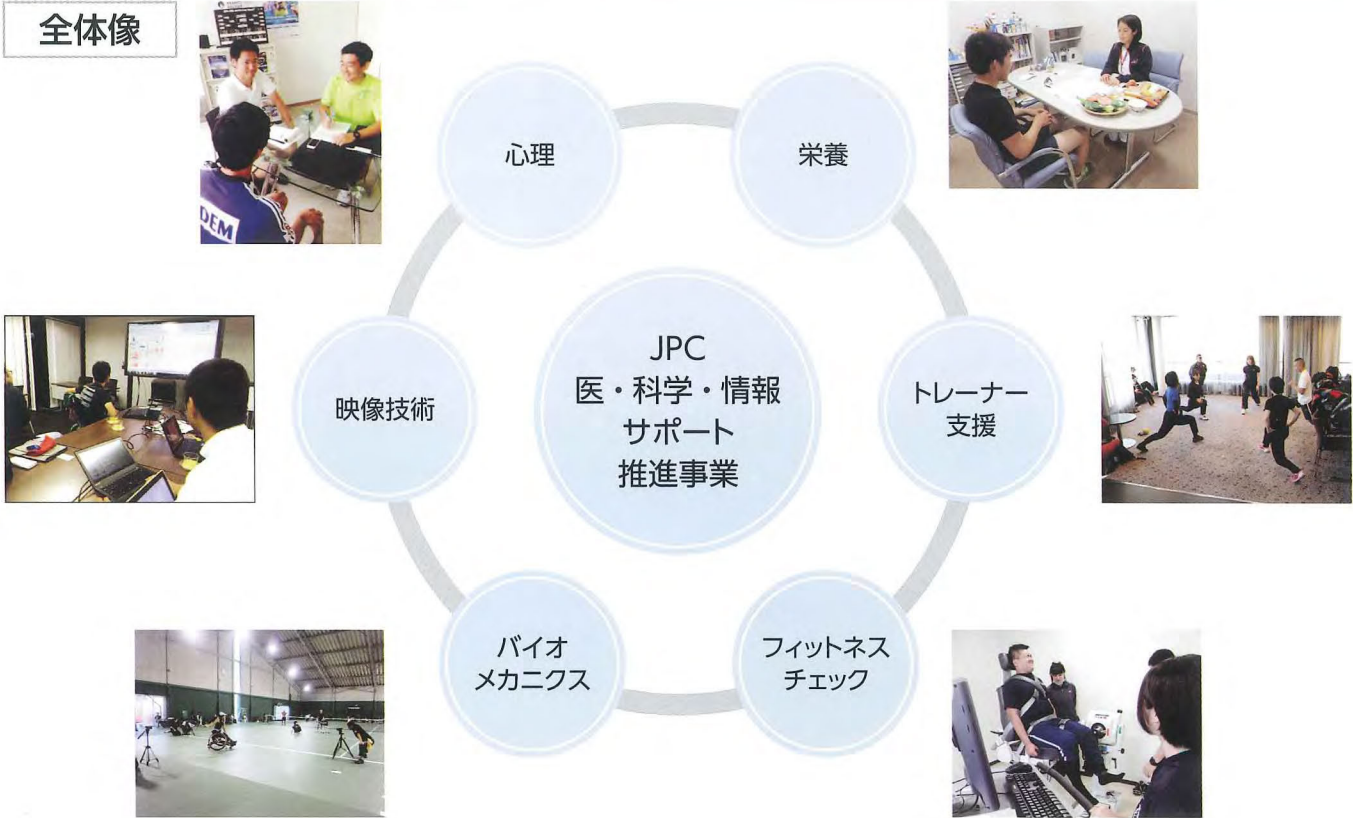
国際資格取得講習会への派遣、加盟競技団体が開催する指導者養成講習会・研修会への助成、医科学サポート研修会の実施を通じ、競技団体により専門性のある指導者を育成する事業を行っています。

6 医・科学・情報サポート推進事業

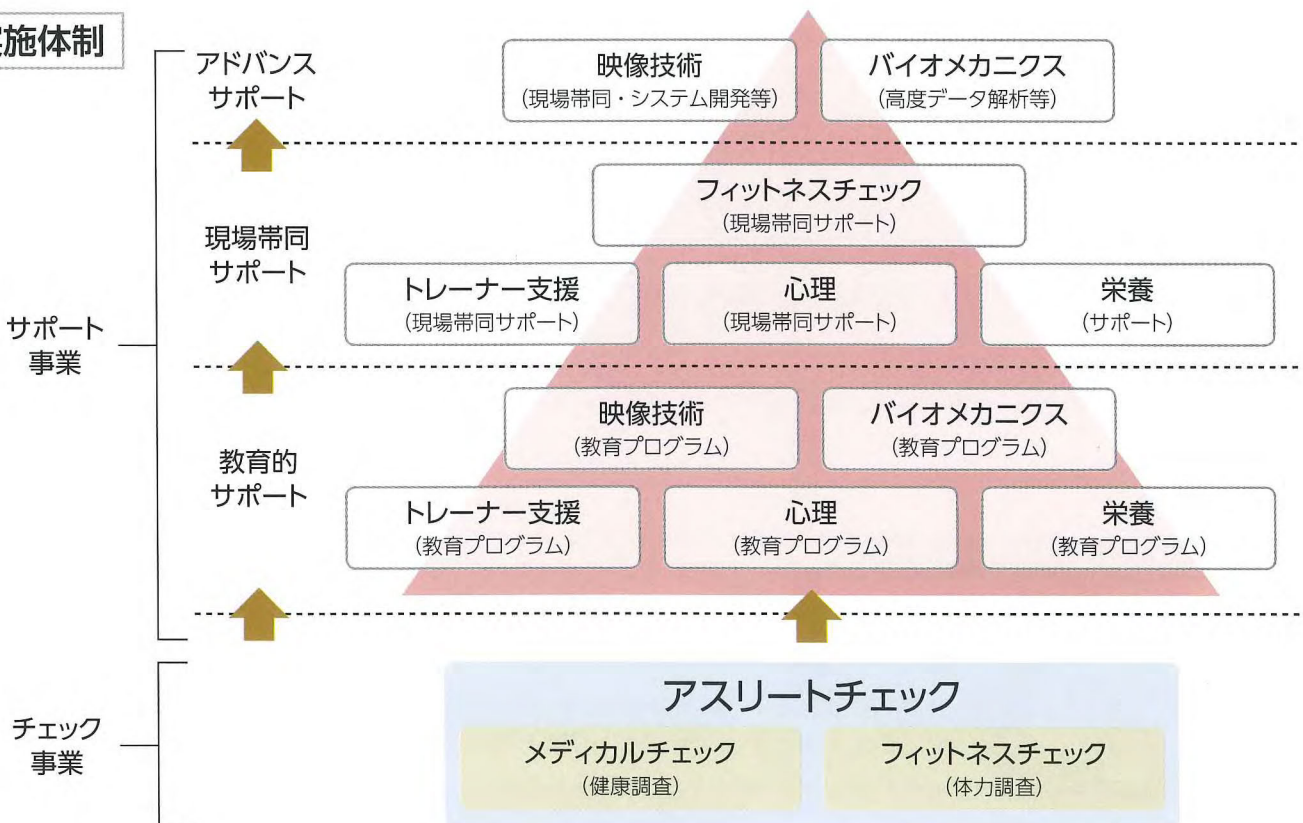
各競技の日本代表選手及び強化指定選手の国際競技力向上の為に、医・科学・情報面の支援とその体制構築を行うことを目的に、対象競技団体サポートや、総合国際大会における選手団サポート、研修会・会議およびサポート関連情報の収集・提供活動を行っています。

JPC医・科学・情報サポート推進事業

全体像



実施体制



Japanese Para-Sports Association



The Japanese Para-Sports Association (JPSA) is a public interest incorporated foundation established in 1965. The celebration of the Tokyo 1964 Paralympic Games gave rise to its foundation under the name of “Japan Sports Association for the Physical Disabled”, as a governing body of sports for people with a physical impairment, authorised by the Ministry

of Health and Welfare (actual Ministry of Health, Labour and Welfare). Its aims were to develop and promote sports opportunities for people with a physical impairment in Japan.

In 1998 when the Nagano Winter Paralympic Games were celebrated, the experts’ meetings made a proposal to define the status of the association as an umbrella organisation to oversee all three impairment categories: physical impairment, intellectual impairment and mental disorder. Its aims were to promote sports opportunities and also to develop and enhance athletes who had possibilities of achieving major results on the international stage.

At the amendment of the act of endowment of the association In 1999, the association was renamed as the “Japan Sports Association for the Disabled” and the Japanese Paralympic Committee (JPC) was established as an internal organisation of JPSA.

In 2002 the new Basic Plan for Persons with Disabilities was approved by the Cabinet Council which specifies the JPSA as the principal governing body to promote sports for people with an impairment.

The Basic Act on Sport was enacted in 2011, following the first comprehensive revision of the Sport Promotion Act in 50 years. This newly established act makes reference for the first time to the development of para-sports. As a result, the responsibility of the Government and JPSA was clarified.

Communication mark of Japanese Para-Sports Association



The colour of red represents the passion of athletes, and the shape is inspired by a wing of a Phoenix.

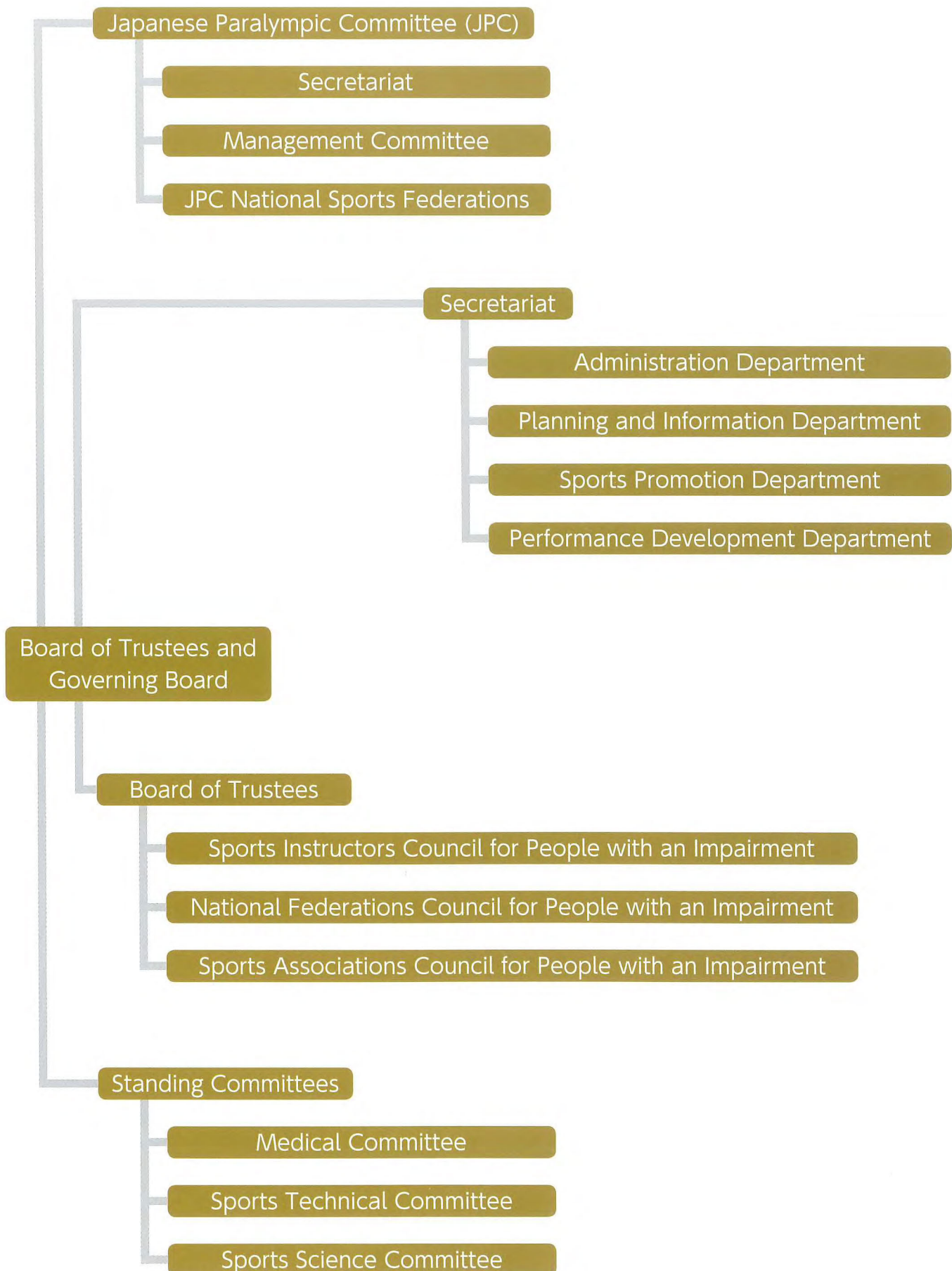
This logo stands for the image of athletes moving towards the future with the wing.

Emblem of Japanese Para-Sports Association



The emblem of Japanese Para-Sports Association was established at the time of the Tokyo 1964 Paralympic Games. The symbol is comprised of 5 rings symbolising the connection between wheelchairs and the world, a star in the middle of the rings for hope, the V alignment representing the victory of life, and the white dove symbolising love.

JPSA's organisational structure



Projects of JPSA

JPSA directs the following activities in order to diffuse and promote sports for people with an

▶ Organising and promoting sport competitions for people with an impairment

JPSA organises National Sports Festival for People with an Impairment for promotion of sports for people with an impairment and their social participation, Japan Para Championships for higher-leveled athletes, and encourages other sports event at a national level.

1

▶ Providing programmes to develop the skills of instructors for people with an impairment

JPSA organises workshops for instructors in order to diffuse and promote sports for people with an impairment and promote the development of instructors.

2

▶ Liaising and coordinating between the national sports federations for people with an impairment and its related organisations

JPSA carries out liaison and coordination between national sports federations for people with an impairment and its related organisations, and supports the diffusion and promotion of sports for people with an impairment.

3

▶ Providing consultation, direction, diffusion and education related to sports for people with an impairment

JPSA attends to various kind of consultation related to sports for people with an impairment.

4

▶ Participating in activities organised by the International Paralympic Committee (IPC) and the International Sports Organizations for the Disabled (IOSDs) which internationally govern para-sports by a specific impairment category

JPC is a member of all relevant international para-sports governing organisations including the International Paralympic Committee and carries out liaison and coordination with them. JPSA/JPC actively collaborate with such international para-sports organisations by sending executives and experts to their committees.

5

mpairment in Japan.

▶ Sending athletes and officials to international competitions and the assigning of awards to those athletes who achieve an outstanding result

JPSA/JPC send athletes and officials to international sports competitions such as Paralympic Games. JPSA gives special awards to top athletes recognising their achievements from the Paralympic Games.

▶ Establishing strategies to develop the performance of athletes with an impairment

JPSA/JPC support para-sports national federations to enhance the capacity to compete of athletes with an impairment.

▶ Conducting research studies on sports for athletes with an impairment

JPSA/JPC conduct extensive research on the development of sports for athletes with an impairment.

▶ Providing Information about sports for athletes with an impairment

JPSA/JPC provide information about sports for athletes with an impairment at national and international level through internet and various reports.

▶ Protecting the intellectual property rights and providing the registered materials to authorised companies to generate funds for activities

Official Partnership Programmes has been conducted since 2005 and JPSA/JPC have made efforts to secure the funding.

▶ Conducting other activities required to achieve the objectives of JPSA

In addition to the above mentioned activities, JPSA organises activities to achieve its objectives.

Organising competitions

JPSA/JPC organise sports competitions at national level

Principal competitions organised by JPSA/JPC

- National Sports Festival for People with an Impairment
- Japan Para Athletics Championships
- Japan Para Swimming Championships
- Japan Para Goalball Championship
- Japan Para Wheelchair Rugby Championship
- Japan Para Alpine Skiing Championships
- Wheelchair Basketball National Championship
- Twin Wheelchair Basketball National Championship
- Oita International Wheelchair Marathon
- Wheelchair Ekiden National Championship
- Kasumigaura International Blind Marathon
- Para-Skiing National Championships
- Women's Wheelchair Basketball National Championship

Emblem of the National Sports Festival for People with an Impairment



The emblem of the National Sports Festival for People with an Impairment is composed of the number 21, representing the Twenty-First century, and stylised images of athletes with an impairment in running, jumping and swimming forms. The colours represent the blue of the sea of Hokkaido, the green of Japan's main island Honshu, yellow as the light of Shikoku and red as the sun of Kyushu. They symbolise the National Sports Festival for People with an Impairment which offers opportunities for sports exchange and interaction, development of a sense of community and celebration of the future successes of the Festival.

Emblem of Japan Para Championships



**Japan Para
Championships**

The emblem of the Japan Para Championships contains the flame symbolising strong spirit and vital energy.

Information provision and consultation

JPSA/JPC provide information for any inquiries regarding para-sports. Also JPSA/JPC provide a wide range of information and counselling services on its website collaborating with para-sports organisations such as national/international para-sports federations, prefectural para-sports associations, and para-sports centres.

Provision of information on the website



Provision of information in brochures and booklets

Provision of articles for exhibitions such as photo panels, videos, and DVDs.



Research studies

JPSA/JPC conduct research studies each year for the development and promotion of para-sports.



Funding

Through the use of JPSA's intellectual property, JPSA seeks and develop industry sponsorship programmes to assist in building our own financial resources.

Educational Programmes

JPSA conducts development programmes for sports instructors including sports coaches, sports doctors, and sports trainers for people with an impairment. Those programmes are implemented based on the authorised sports instructor educational programme in order to promote sports for people with an impairment and to develop performance ability.

Sports instructors for people with an impairment

JPSA conducts the development programme of sports instructors, who shall provide essential support to people with an impairment. Those programmes provide sports instructors knowledge such as guidance and advice, safety management, instruction system to let the people with an impairment enjoy sports safely.

Number of authorised para-sports instructors
(as of December 31 2016)

Beginners Level	19,278
Intermediate Level	3,117
Advanced Level	758
Total	23,153



Sports coaches for people with an impairment

JPSA collaborates with national federations and the other related organisations to develop coaches who shall provide support to the development of people with an impairment in different sports

Recognised para-sports coaches
(as of December 31 2016)

152



Sports doctors for people with an impairment

JPSA provides educational programme for sports doctors for people with an impairment, who shall provide medical supports such as medical management and direction, in collaboration with the related organisations. The sports doctors will contribute to the maintenance and enhancement of health as well as increase the performance ability of people with an impairment from a medical perspective.

Recognised para-sports doctors
(as of December 31 2016)

395



Sports trainers for people with an impairment

JPSA provides the educational programme for sports trainers for people with an impairment who shall provide supports required for the sports activities of people with an impairment, such as safety management and the maintenance/development of performance ability, in collaboration with the related organisations.

Recognised para-sports trainers
(as of December 31 2016)

132



Workshops to improve the quality of trainers

JPSA organises workshops to improve the quality of recognised instructors.

1. Step-up Workshops (Improvement Workshop)
2. Workshops for instructors for the National Sports Festival for People with an Impairment
3. Workshops for classifiers for the National Sports Festival for People with an Impairment

Supports for the promotion of regional activities

JPSA provides support for organising workshops and/or subsidies for activities promoted by the Council of Para-Sports Instructors in eight regions, prefectures and designated cities in Japan in order to develop and promote sports for people with an impairment.

Homologation of educational institutions

JPSA homologates universities, colleges or special technical colleges which have specialised courses pursuant to the School Education Act and which satisfy the requirements for acquisition of the qualification of recognised sports instructors for people with an impairment.

Recognised para-sports instructors
(as of December 31 2016)

179

Homologated educational institution for the qualification for the "Beginners Level"	Universities	64
	Colleges	17
	Technical school	71
Homologated educational institution for the "Intermediate Level"	Universities	27

Organisation and operation of the Japa



The celebration of the Nagano 1998 Winter Paralympic Games gave rise to the establishment of the Japanese Paralympic Committee (JPC); an internal organisation of the Japanese Para-Sports Association (JPSA), authorised by the Ministry of Health, Labour and Welfare.

The JPC is the representative organisation for Japan and a member of various international organisations and international sports federations. It supports Japan's elite athlete performance enhancement programme, and the participation of athletes in international competitions and Games. Jurisdiction of para-sports promotion was transferred from the Ministry of Health, Labour and Welfare to the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in 2014.

Organisation of JPC

- Chairman of the Board: Mitsunori TORIHARA (President of JPSA)
- President: Yasushi YAMAWAKI (Board member of JPSA)
- Vice Presidents: Hidefumi TAKAHASHI (Board member of JPSA)
Masayuki MIZUNO (Board member of JPSA)
Seiichi SAKURAI
- 23 Members of the Board (1 President and 3 Vice Presidents)
- 63 Member Sports Organisations
- Secretariat: Japanese Para-Sports Association (JPSA)

Activities

Sending teams to international games & competitions

JPC organises Japanese delegations to international multi-sports games including the Paralympic Games; and distributes government subsidies to national para-sport federations (NFs) to support athletes participation in games and competitions in their respective sports

Organising Japan Para Championships

In cooperation with respective NFs, JPC organises the Japan Para Championships, Japan's top-level single-sport championships for enhancing the ability of the athletes.

Training camps

JPC distributes government subsidies to NFs to assist in the organisation of training camps for their respective performance enhancement programmes.

Talent Discovery Programmes

In cooperation with NFs and local sports organisations, JPC sponsors the discovery of potential future Paralympic talent, by providing opportunities to beginner athletes to experience para-sports.

Development of human resources

JPC provides human resource development projects for NFs through sponsorship of NF personnel participation in training courses for internationally-qualified sport officials, support of training courses for para-sport instructors organised by NFs, and provision of medical and sports science support seminars.

Medical, Science, and Information Support Project

In order to improve the international competitiveness to enhance the development of elite athletes and national para-sports federations, JPC provides medical, science, and information support project such as training workshops, meetings, and the creation and sharing of a medical and science knowledge base.

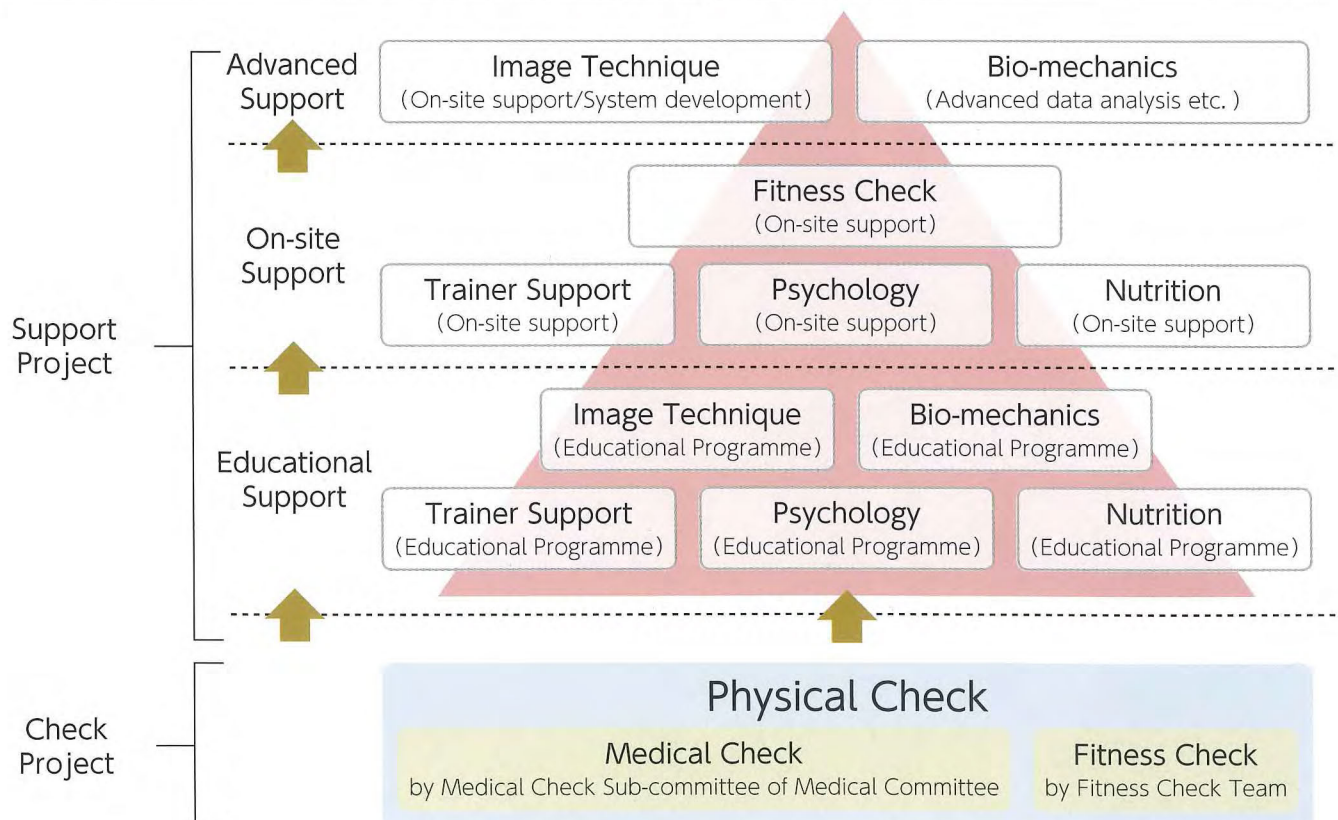
Japanese Paralympic Committee

Support Project of JPC in Medical, Science, and Information

Overview



Mechanism of Support Project



公益財団法人
日本障がい者スポーツ協会
日本パラリンピック委員会

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6

ユニゾ水天宮ビル3F

[TEL] 03-5939-7021

[FAX] 03-5641-1213

Japanese Para-Sports Association
Japanese Paralympic Committee

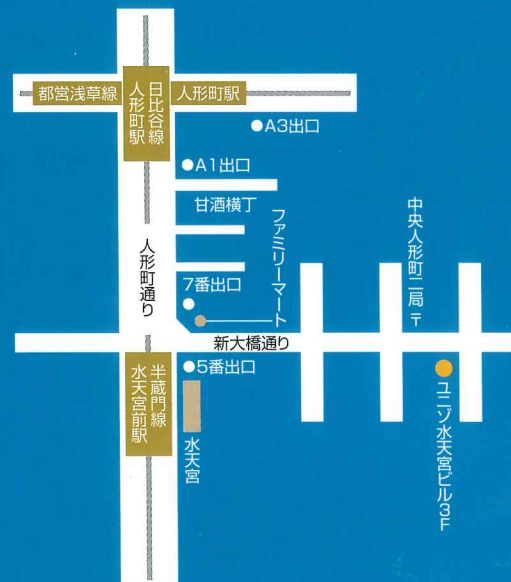
Japanese Para - Sports association
Japanese Paralympic Committee
2-13-6-3F, Nihonbashi - Kakigaracho,
Cuo-ku, Tokyo, 103-0014, Japan

[TEL] +81-3-5939-7021

[FAX] +81-3-5641-1213

[URL] <http://www.jsad.or.jp>

[E-mail] jpc99@jsad.or.jp



無断転載を禁じます。

Japanese Para-Sports Association. All rights reserved.